

第7回(令和元年度 第1回)

和泉市立総合医療センター 経営評価委員会

次 第

日 時：令和元年7月31日(水)午前10時00分～

場 所：和泉市コミュニティセンター1階 中集会室

1. 開 会

2. 議 題

- ①平成30年度 運営状況について … (資料1)
- ②平成30年度 進行管理(PDCA)チェックシート
兼経営評価シートについて … (資料2)
- ③平成30年度 答申(案)について … (資料3)
- ④令和元年度評価の諮問について … (資料4)

<資 料>

委員・出席者名簿

- 資料1 和泉市立総合医療センター運営事業 平成30年度 運営状況
- 資料2 平成30年度 進行管理(PDCA)チェックシート兼経営評価シート
- 資料3 平成30年度 和泉市立総合医療センターの指定管理者による管理
運営状況の評価について(答申)(案)
- 資料4 令和元年度 和泉市立総合医療センターの指定管理者による管理
運営状況及び和泉市立病院新改革プラン実施状況の
評価について(諮問)

<参考資料>

- 参考資料1 和泉市立総合医療センター経営評価委員会規則
- 参考資料2 和泉市立病院 新改革プラン
- 参考資料3 和泉市消防本部 救急搬送件数
- 参考資料4 診療科別 紹介患者数
- 参考資料5 診療科別単価 前年同月比較
- 参考資料6 指定管理者負担金推移(H30～R6見込み)

委員名簿

委員長

(敬称略)

氏名	所属
高杉 豊	公益財団法人 大阪府保健医療財団 理事長 公益財団法人 大阪国際がん治療財団 理事長

委員

(敬称略・50音順)

氏名	所属
鹿島 洋一	和泉市医師会副会長 特定医療法人新仁会 新仁会病院 名誉院長
木村 佳弘	桃山学院大学 経済学部 准教授
露口 六彦	和泉市代表監査委員 税理士法人パートナーズ関西 代表税理士
槇野 勝美	和泉市教育委員会委員
吉岡 敏治	森ノ宮医療大学 副学長 大阪急性期・総合医療センター 名誉院長

出席者名簿

指定管理者

(敬称略・順不同)

氏 名	所 属
東上 震一	医療法人徳洲会 副理事長 岸和田徳洲会病院 病院長
村上 城子	和泉市立総合医療センター 総長
松下 晴彦	和泉市立総合医療センター 病院長
西岡 伯	和泉市立総合医療センター 特任病院長
山上 美恵子	和泉市立総合医療センター 副院長
川口 いずみ	和泉市立総合医療センター 看護部長
野内 由美	和泉市立総合医療センター 医療安全室専従 (副看護部長)
櫛引 健一	和泉市立総合医療センター 事務長
平 文典	和泉市立総合医療センター 事務次長
古賀 栄司	和泉市立総合医療センター 医事課長
横田 泰二	和泉市立総合医療センター 総務課係長
八巻 真弓	和泉市立総合医療センター 医事課係長
青合 昌平	和泉市立総合医療センター 医事課主任
山田 昌代	和泉市立総合医療センター 経理課主任
浦山 聡	岸和田徳洲会病院 事務部長

和泉市

氏 名	所 属
石川 清	副市長
土本 修一	総務部長
山本 貢	総務部次長 (庁舎整備・財政・病院経営管理担当)
藤井 満	総務部病院経営管理課長
山下 勝	総務部病院経営管理課 課長補佐兼病院経営管理係長
若松 良和	総務部病院経営管理課 主任

和泉市立総合医療センター運営事業
平成30年度
運営状況

目 次

1. 平成30年度 事業計画	1
2. 医療機能に係る指標	1
1. 和泉市立病院 新改革プラン数値目標分	
①患者数の前年度実績との比較	
②月別1日あたり患者数の推移(入院)	
③月別1日あたり患者数の推移(外来)	
④診療科別1日あたり患者数(入院)	
⑤診療科別1日あたり患者数(外来)	
⑥病床利用率	
⑦診療単価	
⑧救急患者受入数	
⑨和泉市消防本部 救急搬送	
2. その他、医療機能に係る指標	
①平均在院日数	
②紹介率、逆紹介率	
③手術者数	
④健診	
⑤医療事故等への対応	
3. 職員数	8
①職員数の推移(非常勤職員含む)	
4. 患者サービス向上に係る取り組み	9
①平成30年度取り組み	
②平成30年度提案ポストへの投書件数	
5. 経営健全化に係る指標	10
①損益計算書	
②貸借対照表	

1. 平成30年度 事業計画

- ・主な取り組み
医師確保、急性期医療の拡充、がん医療を中心とした高度専門医療の拡大
- ・1日あたり患者数
入院 270名(退院日の患者数を含む)
外来 549名
- ・救急医療
24時間365日の救急医療の実施

2. 医療機能に係る指標

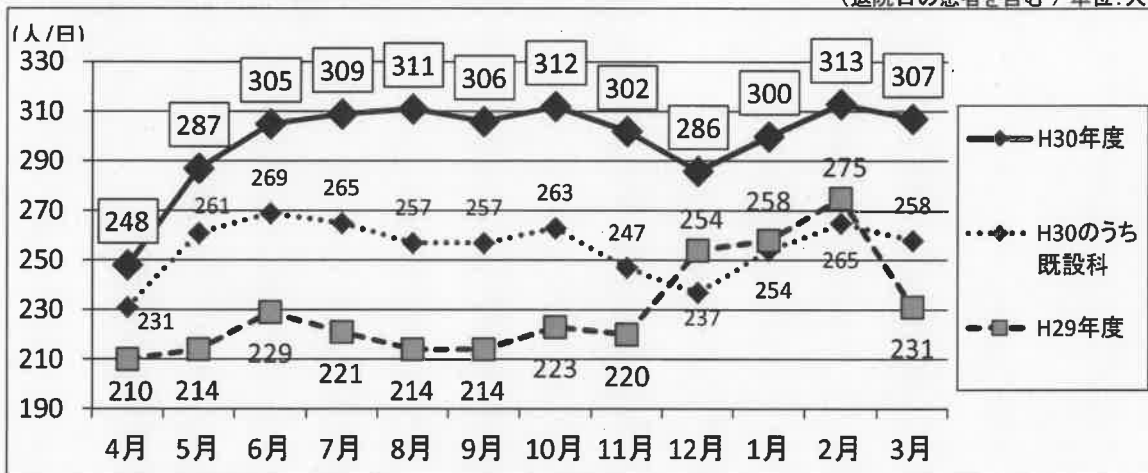
1. 和泉市立病院 新改革プラン数値目標分

①患者数の前年度実績との比較

	実績			平成30年度 新改革プラン目標値
	平成30年度	平成29年度	比較(増減率)	
1日あたり入院患者数 (退院日の患者を含む)	299人	230人	69人 (+30.0%)	270人
1日あたり外来患者数	850人	559人	291人 (+52.1%)	549人

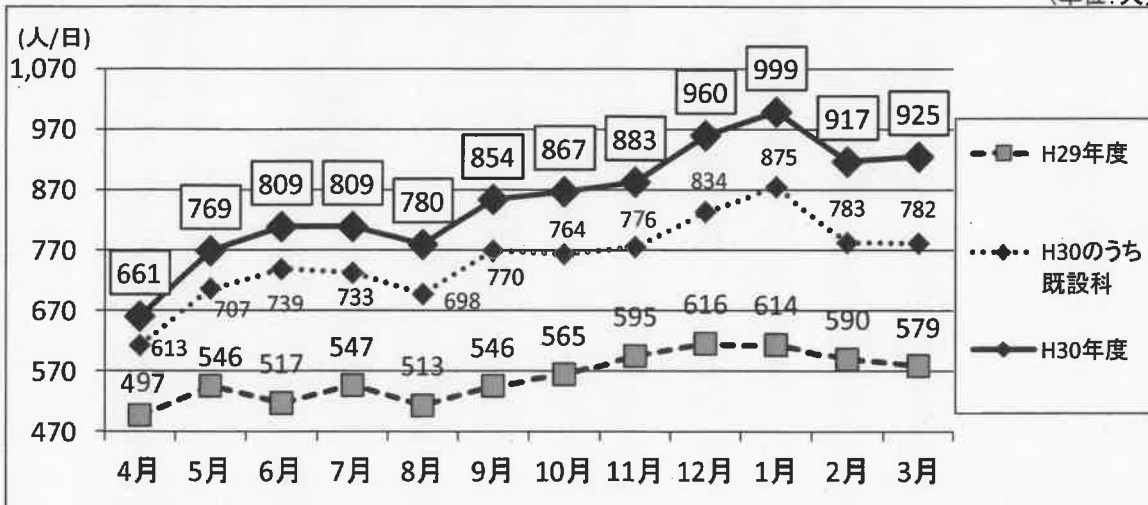
②月別1日あたり患者数の推移(入院)

(退院日の患者を含む / 単位:人)



③月別1日あたり患者数の推移(外来)

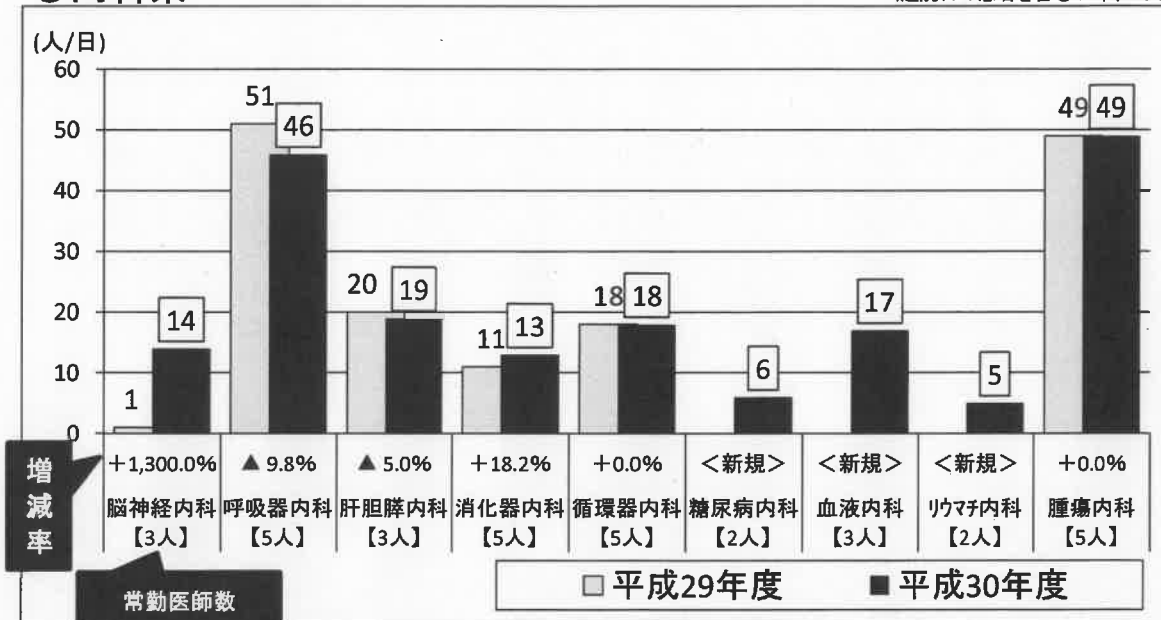
(単位:人)



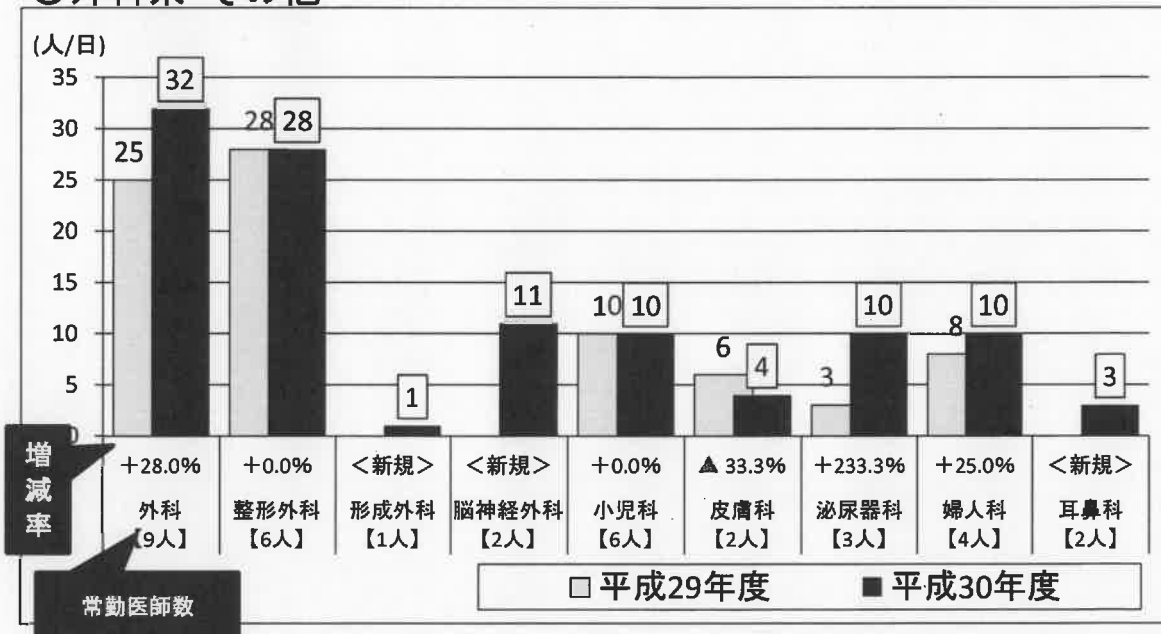
④診療科別 1日あたり患者数(入院)

○内科系

(退院日の患者を含む / 単位:人)



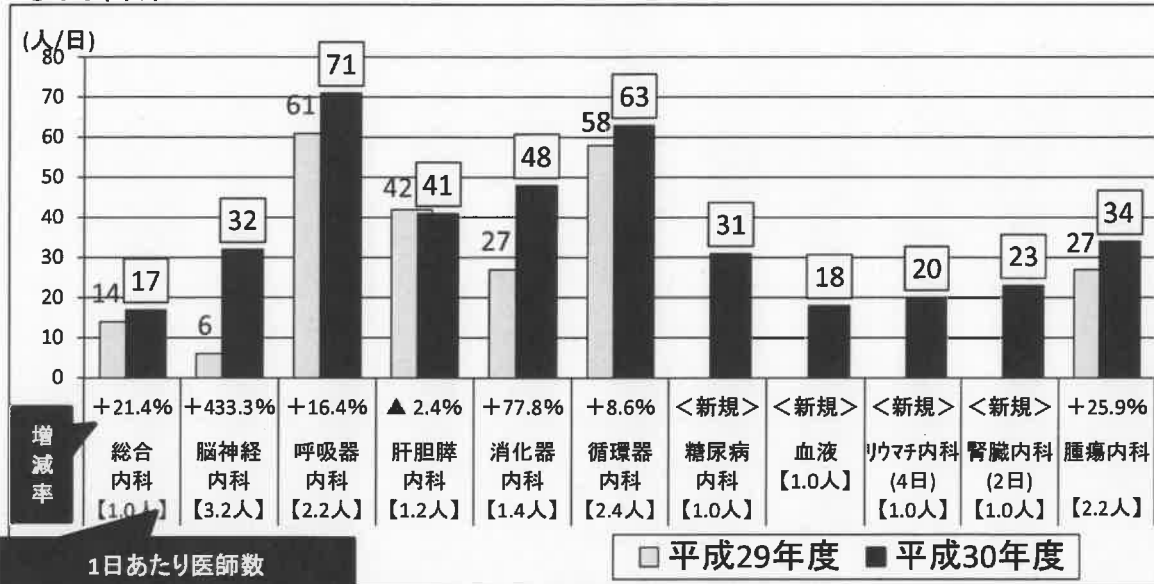
○外科系・その他



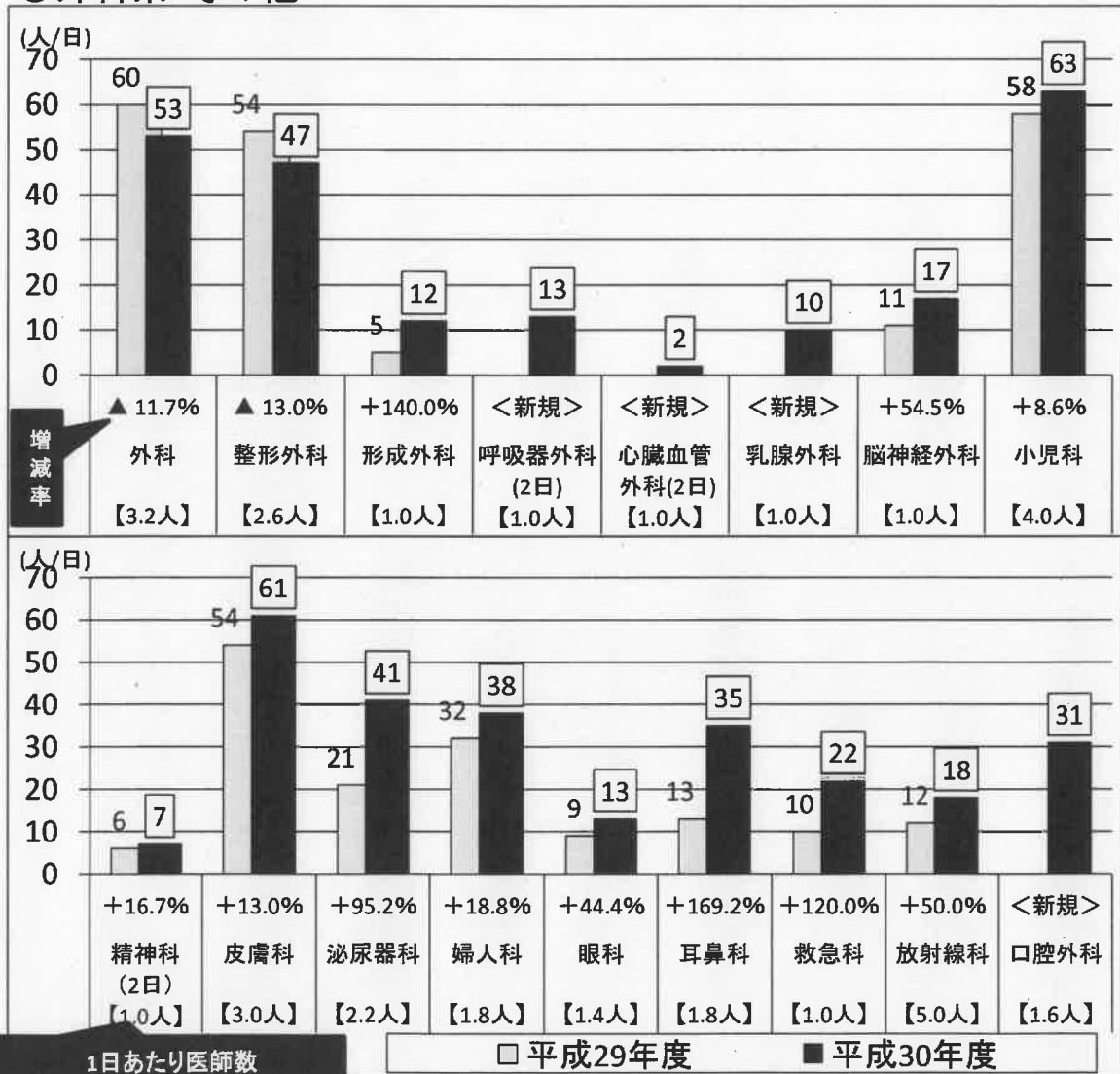
⑤診療科別1日あたり患者数(外来)

(単位:人)

○内科系



○外科系・その他



※診療日が5日未満の診療科は、実診療日にて算出しています。

⑥病床稼働率

(単位:人、床、日、%)

	年度	稼働率	新改革プラン 目標値	延患者数 ÷ (許可病床数 × 日数) × 100
許可病床 ベース	平成30年度	97.3 %	87.9 %	109,054 ÷ (307 × 365) × 100
	平成29年度	74.9 %		83,981 ÷ (307 × 365) × 100
稼働病床 ベース※	平成30年度	97.3 %		H30 より 許可病床数 = 稼働病床数
	平成29年度	78.5 %		83,981 ÷ (293 × 365) × 100

※ 近畿厚生局への病床届出数:293床(平成29年度)

$$\begin{aligned} & \text{許可病床数} - (\text{南館1階} + \text{南館3階病児室} + \text{5階病棟 (6人室} \rightarrow \text{4人室)} \times 3) \\ & = 307\text{床} - (5\text{床} + 3\text{床} + 6\text{床}) \end{aligned}$$

⑦診療単価

	実績			平成30年度 新改革プラン目標値 (4月~3月)
	平成30年度	平成29年度	比較(増減率)	
入院診療単価 (退院日の患者を含む)	56,946円	48,899円	8,047円 (+16.5%)	51,500円
外来診療単価	16,447円	13,657円	2,790円 (+20.4%)	14,600円

⑧救急患者受入数

(単位:人、%)

診療科	実績		前年度 比較	実施状況
	平成30年度	平成29年度		
小児科	3,585	3,499	+86 (+2.5)	毎週火曜日17:15~翌6:00 第2,4,5土曜日23:00~翌6:00
内科系 外科系	11,235	6,871	+4,364 (+63.5)	終日実施
合計	14,820	10,370	+4,450 (+42.9)	
搬送者数	3,526	1,981	+1,545 (+78.0)	
搬送者の うち入院	1,105 (31.3%)	695 (35.1%)	410 (+59.0)	

⑨和泉市消防本部 救急搬送

(単位:人、%)

区分	平成30年度	搬送率	平成29年度	搬送率	前年度比較 (増減率)	平成30年度 新改革プラン 目標値	搬送率
和泉市立 総合医療センター	2,351	26.3	1,329	15.7	+1,022 (+76.9)	3,700 (年間)	43.5 (年間)
市内民間病院	3,798	42.4	3,971	47.0	▲173 (▲4.4)		
市 外	2,804	31.3	3,151	37.3	▲347 (▲11.0)		
合計	8,953		8,451		+502 (+5.9)		

(和泉市消防本部統計より)

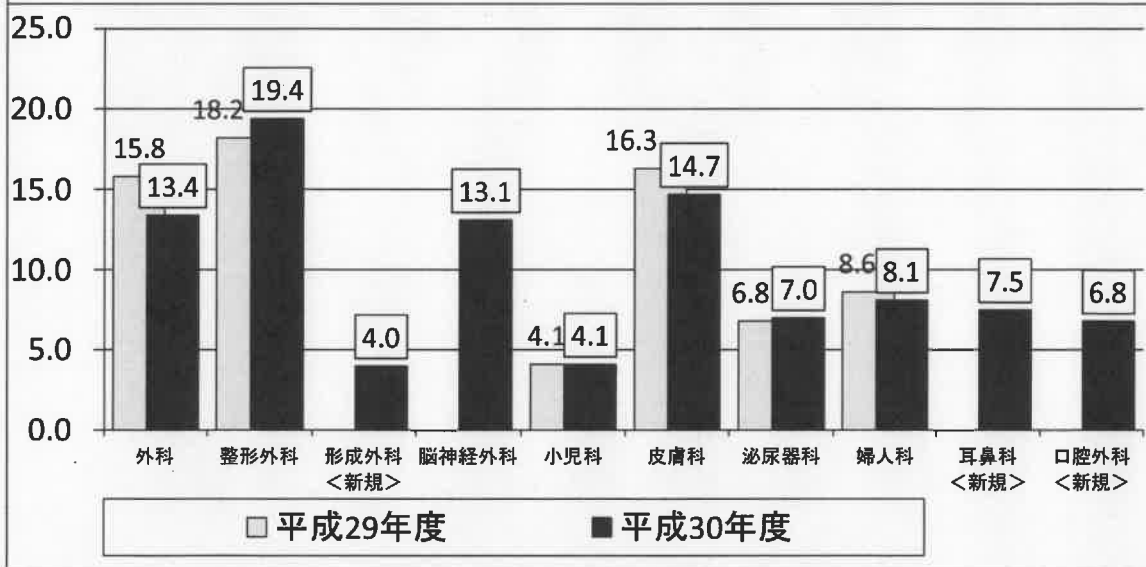
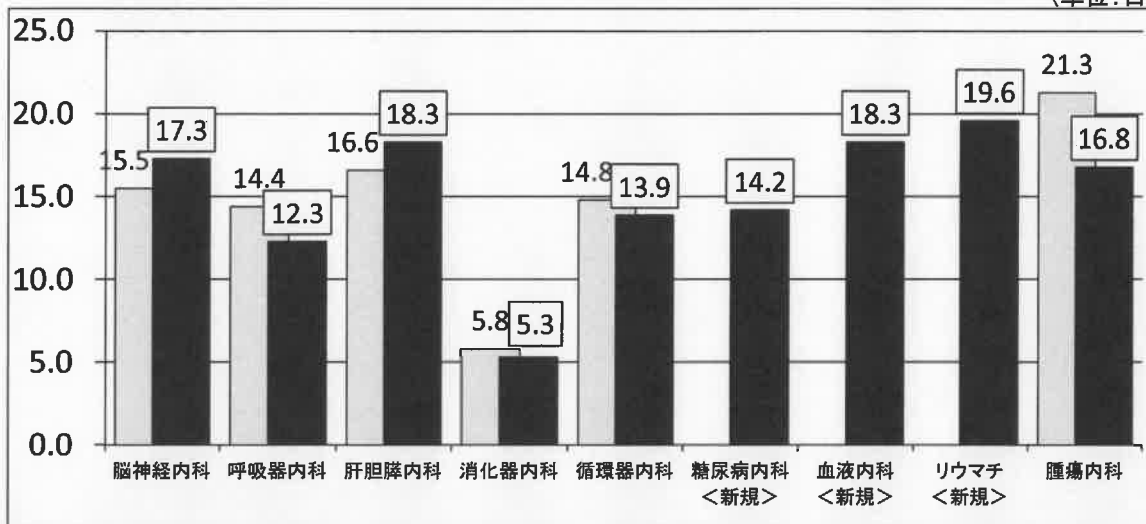
2. その他、医療機能に係る指標

① 平均在院日数

(単位:日)

	H30	H29	増減
全診療科平均	12.0	13.4	▲ 1.4

(単位:日)



②紹介率、逆紹介率

(単位:人)

	年度	実績	(初診 紹介患者 + 救急搬送) ÷ 初診患者数 × 100		
紹介率	平成30年度	68.9%	(10,578 + 3,526) ÷ 20,463 × 100		
	平成29年度	43.2%	(6,167 + 1,978) ÷ 18,835 × 100		
	年度	実績	逆紹介患者数	÷	初診患者数 × 100
逆紹介率	平成30年度	45.5%	9,303	÷	20,463 × 100
	平成29年度	32.5%	6,130	÷	18,835 × 100

③手術件数

(単位:人、%)

指	標	平成30年度		平成29年度		差		増減率(%)	
		うち全麻		うち全麻		うち全麻		うち全麻	
手術者数	外科	756	611	403	323	+353	+288	+87.6	89.2
	整形外科	504	464	490	447	+14	+17	+2.9	3.8
	婦人科	237	184	174	142	+63	+42	+36.2	29.6
	皮膚科	153	7	118	13	+35	▲6	+29.7	▲46.2
	形成外科	234	59	5	0	+229	+59	+4,580.0	皆増
	泌尿器科	359	50	102	8	+257	+42	+252.0	525.0
	脳神経外科	58	31	0	0	+58	+31	新設	皆増
	耳鼻科	48	40	0	0	+48	+40	新設	皆増
	歯科口腔外科	13	13	0	0	+13	+13	新設	皆増
	計	2,362	1,459	1,292	933	+1,070	+526	+82.8	56.4

④健診

(単位:人、%)

指	標	平成30年度	平成29年度	差	増減率
人間ドック		826	517	309	+59.8%
特定健診		1,441	1,343	98	+7.3%

⑤医療事故等への対応

○レベル別件数

(単位:件)

	レベル	職種	H30	H29	事例(本年度)
インシデント	0～3a	医師	80	15	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤関連(投与量・方法・時間・容量間違い等) ・点滴トラブル(自己抜去、血管外漏出等) ・転倒転落 ・検査関連(指示間違い、指示受け間違い等) ・その他(感染疑いの隔離不足、OP申込み漏れ、データ入力間違い等)
		看護師	1,182	760	
		薬剤師	59	28	
		放射線技師	89	31	
		臨床検査技師	26	26	
		リハビリ	21	4	
		その他	40	12	
計	1,497	876			
アクシデント (医療事故)	3b	医師	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器回路の不具合 ・転倒骨折 ・血漿交換用薬液準備間違い ・気管チューブ自己抜管 ・転倒し頭部打撲(出血、裂創)
		看護師	13	7	
		薬剤師	0	0	
		放射線技師	1	1	
		臨床検査技師	0	0	
		リハビリ	0	1	
		その他	1	0	
	計	17	9		
	4a～5	医師	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒後脳挫傷(4b)
		看護師	0	0	
		薬剤師	0	0	
		放射線技師	0	0	
		臨床検査技師	0	0	
		その他	0	0	
	計	1	1		
	計 (3b～5)	医師	3	1	
		看護師	13	7	
薬剤師		0	0		
放射線技師		1	1		
臨床検査技師		0	0		
その他		1	0		
計	18	10			

※その他内訳:栄養科、ME

○種類別件数

(単位:件)

概要	H30	H29	増減
薬剤	450	280	170
輸血	12	9	3
治療・処置	95	25	70
医療機器等	36	18	18
ドレーン・チューブ	127	68	59
検査	241	113	128
療養上の世話	318	250	68
その他	236	123	113
合計	1,515	886	629

(参考) 医療事故レベル

インシデント	0	エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった
1		患者への実害はなかった(何らかの影響は与えた可能性は否定できない)
2		処置や治療行わなかった(患者観察の強化、バイタルサインの軽度変化、安全確認のための検査などの必要性が生じた)
3a		単純な処置や治療を要した(消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など)
アクシデント	3b	濃厚な処置や治療を要した(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)
4a		永続的な障害が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題を伴わない
4b		永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
5		死亡(原疾患の自然経過によるものを除く)

国立大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針 に準じる

3. 職員数

①職員数の推移(非常勤職員含む)

■職員数の推移

(単位:人)

	H31.4	H31.3	H30.4	H29.4	H28.4	H27.4
医師	110.45	93.60	86.10	60.79	54.85	54.17
常勤	97	83	82	54	48	47
非常勤 (常勤換算)	113 (13.45)	95 (10.60)	25 (4.10)	70 (6.79)	74 (6.85)	79 (7.17)
看護部	310.93	273.97	273.30	209.94	209.87	198.65
常勤	292	254	247	189	188	169
非常勤 (常勤換算)	26 (18.93)	28 (19.97)	30 (26.30)	26 (20.94)	27 (21.87)	38 (29.65)
医療技術職	116.10	92.53	81.41	66.32	53.36	48.41
常勤	113	89	78	62	50	46
非常勤 (常勤換算)	6 (3.10)	6 (3.53)	6 (3.41)	7 (4.32)	6 (3.36)	4 (2.41)
合計	537.48	460.10	440.81	337.05	318.08	301.23
常勤	502	426	407	305	286	262
非常勤 (常勤換算)	145 (35.48)	129 (34.10)	61 (33.81)	103 (32.05)	107 (32.08)	121 (39.23)

※ 看護部は看護師免許取得者のみ。

※ 常勤換算人員は $\frac{\text{勤務時間}}{7.5 \text{ 時間}} \div \left(\frac{1 \text{ 日の勤務時間(常勤)}}{7.5 \text{ 時間}} \times \frac{\text{月間勤務日数(常勤)}}{21.67 \text{ 日}} \right)$

■常勤医師の状況

(単位:人)

	H31.4	H31.3	H30.4	H29.4	H28.4	H27.4	H26.4
内科		1	1				
循環器内科	4	4	5	5	4	4	5
呼吸器内科	7	5	5	5	6	5	4
消化器内科(内視鏡)	4	5	5	2			
肝胆膵内科	3	2	3	3	4	4	4
血液内科	4	3	3				
内分泌・糖尿病内科	4	2	2				
脳神経内科	2	3	3				
腫瘍内科	8	6	5	7	4	4	5
緩和ケア内科	1	1	1				
外科	11	9	9	4	5	5	6
消化器外科	6	4	4				
心臓血管外科	1	1	1				
乳腺外科	1	2	2				
呼吸器外科	3	2	2				
形成外科	1	1	1				
整形外科	6	6	6	6	6	5	4
小児科	6	6	6	6	5	5	6
脳神経外科	3	2	2	0	1	1	1
泌尿器科	4	4	3	1			
皮膚科	3	3	2	2	2	2	1
婦人科	4	4	4	4	4	4	4
耳鼻いんこう科	1	2	2				
リウマチ内科	3	2	2				
放射線科	6	5	5	4	4	5	5
麻酔科	4	2	2	2	2	2	
病理診断科	1	1	1	1	1	1	
歯科口腔外科	2	2					
研修医他	5	2	4	2			
合計	97	83	82	54	48	47	45

4. 患者サービス向上に係る取り組み

①平成30年度取り組み

サービス	時期	主な内容
救急医療の受入日拡大	4月～	①内科・外科系 24時間365日の救急医療を実施 ②小児救急 毎週火曜日 17:15～翌6:00 第2, 4, 5土曜日 23:00～翌6:00
出前講座	4月～	市民の要望に応じて医師等が地域へ出向き、成人病対策やこどもの疾患等を分かりやすく説明し、健康づくりの一助としていただいた。
和泉市在宅医療・介護連携コーディネーター事業	4月～	地域の医療(介護)機関が連携することにより、包括的かつ継続的な在宅医療(介護)を提供できるよう地域の専門職の相談窓口となる。
夏休み病院見学ツアー	8月	中高生を対象に救急処置室における患者対応や医療機器を紹介し、病院への理解を深めていただいた(中学生17人、保護者15人参加)。
CT、MRI、自動精算機の増設	3月～	検査待ち、会計待ち時間の短縮のため、CT、MRI、自動精算機を各1台増設。
外来患者待ち情報システム	3月～	現在診察中の患者の受付番号のほか、次に診察予定の患者の番号を表示する。

②平成30年度提案ポストへの投書件数

(単位:件)

区分	平成30年度	平成29年度	内容例
総件数	198	101	
お礼	21	29	<ul style="list-style-type: none"> ・忙しいのに色々な相談にのってもらえた。 ・他の診療科にすぐに連携をとってもらえた。 ・入院中、看護師さんが頼りになった。 ・手術のあと、何度ものぞきにきてくれた。
苦情・要望等	186	72	
設備	91	18	<ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターの場所がわかりづらいので表示をわかりやすくしてほしい。 ・電話がつながりにくい。電話回線、職員を増やして欲しい。 ・待合の椅子を増やしてほしい。 ・視覚障害者には会計の呼び出し等が見づらい。 ・時間外入口に関する案内がなかったため、休日に入りがわからず困った。 ・CT検査で2時間以上待たされた。 ・会計がいつも混んでいる。 ・外来モニタに診察中の患者だけでなく、次の人の受付番号も表示して欲しい。
接遇	62	30	<ul style="list-style-type: none"> ・医師が無愛想で気分が悪い。 ・外来受付の人が少なく長時間待たされた。 ・夜間、カーテンの開け閉めや看護師の話し声がうるさい。 ・退院時、説明があると聞いて待っていたが、連絡ミスで1時間以上待たされた。
その他	80	24	<ul style="list-style-type: none"> ・ピンクの服の人は何の職種か。看護師と間違うので変えてほしい。 ・BGM等で緊張感を和らげてほしい。 ・トイレ掃除が行き届いていない。 ・予約の時間変更が、2時から4時の間しかできなくて不便。

5. 経営健全化に係る指標

① 損益計算書(4月～3月)

(単位:千円)

科 目	平成30年度 (a)	平成29年度 (b)	前年度比 (a)-(b)	増減率 %
医業収益 (A)	9,907,302	6,108,924	3,798,378	62.2
入院収益	6,210,161	4,106,626	2,103,535	51.2
外来収益	3,411,586	1,863,745	1,547,841	83.1
その他医業収益	285,555	138,553	147,002	106.1
うち室料差額収益	154,139	99,646	54,493	54.7
うち文書料・その他	182,585	78,825	103,760	131.6
うち保険等査定減	▲ 51,169	▲ 39,918	▲ 11,251	28.2
医業費用 (B)	8,970,640	6,146,088	2,824,552	46.0
給与費	4,347,508	3,351,529	995,979	29.7
材料費	2,998,160	1,598,160	1,400,000	87.6
委託費	467,777	368,523	99,254	26.9
経費	567,865	358,320	209,545	58.5
設備関係費	236,584	242,770	▲ 6,186	▲ 2.5
研究研修費	17,640	16,131	1,509	9.4
控除対象外消費税	335,106	210,655	124,451	59.1
医業損益 (A)-(B)	936,662	▲ 37,164	973,826	▲ 2,620.3
医業外収益 (C)	292,299	276,466	15,833	5.7
うち受取利息	2	1	1	-
うち運営費補助金収益	232,954	254,910	▲ 21,956	▲ 8.6
うちその他医業外収益	59,343	21,555	37,788	175.3
医業外費用 (D)	74,929	197,968	▲ 123,039	▲ 62.2
経常損益 ((A)+(C))-((B)+(D))	1,154,032	41,334	1,112,698	2,692.0
臨時収益 (E)	28,938	0	28,938	-
臨時費用 (F)	29,200	1,724	27,476	-
税引前利益 ((A)+(C)+(E))-((B)+(D)+(F))	1,153,770	39,610	1,114,160	2,812.8
医業収支比率 (A)÷(B)×100	110.4	99.4	11.0	
経常収支比率 ((A)+(C))÷((B)+(D))×100	112.8	100.7	12.1	
給与費率 (給与費)÷(A)×100	43.9	54.9	▲ 11.0	
材料費率 (材料費)÷(A)×100	30.3	26.2	4.1	
経常収支比率 新改革プラン目標値(H30)	103.0			

(うち医業費用明細) (4月～3月)

(単位:千円、%)

科 目	平成30年度		平成29年度		前年度比 (a)-(b)	増減率 %
	(a)	構成比 (%)	(b)	構成比 (%)		
医業費用	8,970,640	100.00	6,146,088	100.00	2,824,552	46.0
給与費	4,347,508	48.46	3,351,529	54.53	995,979	29.7
うち常勤職員給与	2,847,809	31.75	2,253,909	36.67	593,900	26.3
うち非常勤職員給与	444,089	4.95	308,887	5.03	135,202	43.8
うち法定福利費	471,874	5.26	368,032	5.99	103,842	28.2
うち賞与	448,607	5.00	354,767	5.77	93,840	26.5
うち退職金	47,923	0.53	50,142	0.82	▲ 2,219	-
材料費	2,998,160	33.42	1,598,160	26.00	1,400,000	87.6
うち医薬品費	1,876,478	20.92	855,544	13.92	1,020,934	119.3
うち医療消耗品費	771,620	8.60	486,947	7.92	284,673	58.5
うち検査材料費	215,627	2.40	162,885	2.65	52,742	32.4
委託費	467,777	5.21	368,523	6.00	99,254	26.9
うち検査委託費	55,734	0.62	29,804	0.48	25,930	87.0
うち給食委託費	61,200	0.68	54,334	0.88	6,866	12.6
うち医事委託費	36,847	0.41	34,360	0.56	2,487	7.2
うち清掃委託費	50,675	0.56	40,447	0.66	10,228	25.3
うち警備委託費	28,687	0.32	23,289	0.38	5,398	23.2
うち労務委託費	41,519	0.46	70,207	1.14	▲ 28,688	▲ 40.9
うち事務委託費	53,049	0.59	47,351	0.77	5,698	12.0
経費	567,865	6.33	358,320	5.83	209,545	58.5
うち消耗品費	21,288	0.24	30,719	0.50	▲ 9,431	▲ 30.7
うち事務用品費	55,390	0.62	57,283	0.93	▲ 1,893	▲ 3.3
うち光熱水道費	95,808	1.07	112,840	1.84	▲ 17,032	▲ 15.1
うち広告宣伝費	19,218	0.21	8,693	0.14	10,525	121.1
うち募集費	13,433	0.15	8,317	0.14	5,116	61.5
うち保険料	29,177	0.33	15,166	0.25	14,011	92.4
うち寄付金	108,620	1.21	19,000	0.31	89,620	471.7
うち支払手数料	70,438	0.79	49,405	0.80	21,033	42.6
設備関係費	236,584	2.64	242,770	3.95	▲ 6,186	▲ 2.5
うち医療機器リース・レンタル料	147,449	1.64	84,114	1.37	63,335	75.3
うち減価償却費	26,899	0.30	29,477	0.48	▲ 2,578	▲ 8.7
うち修繕費	9,875	0.11	8,458	0.14	1,417	16.8
うち機器保守料	6,817	0.08	7,199	0.12	▲ 382	▲ 5.3
研究研修費	17,640	0.20	16,131	0.26	1,509	9.4
控除対象外消費税	335,106	3.74	210,655	3.43	124,451	59.1

②貸借対照表

(単位:千円)

科 目	H31.3.31現在(A)	H30.3.31現在(B)	増減(A)-(B)
【流動資産】	【 2,030,776 】	【 1,194,820 】	【 835,956 】
現金預金	50,141	42,438	7,703
医業未収入金	1,782,171	1,050,344	731,827
未収金	83,716	73,233	10,483
薬品	66,459	22,400	44,059
診療材料	1,873	2,275	△ 402
その他貯蔵品	1,382	611	771
前払費用	14,644	11,313	3,331
貸倒引当金	△ 16,804	△ 9,800	△ 7,004
大阪本部勘定	44,808	0	44,808
その他流動資産	2,386	2,006	380
【固定資産】	【 177,459 】	【 44,645 】	【 132,814 】
(有形固定資産)	(164,529)	(38,819)	(125,710)
建物	85,125	768	84,357
構築物	227	0	227
医療機器	73,713	35,827	37,886
その他器械備品	5,464	2,224	3,240
(無形固定資産)	(3,616)	(812)	(2,804)
他無形固定資産	3,616	812	2,804
(投資他資産)	(9,314)	(5,014)	(4,300)
保証金	64	14	50
長期貸付金	9,250	5,000	4,250
【繰延資産】	【 9,356 】	【 2,417 】	【 6,939 】
繰延消費税	9,356	2,417	6,939
資 産 合 計	2,217,591	1,241,882	975,709
【流動負債】	【 1,383,191 】	【 1,596,372 】	【 △ 213,181 】
買掛金	835,382	443,362	392,020
短期借入金	108,000	76,800	31,200
未払給与	114,014	88,462	25,552
未払金	138,789	147,910	△ 9,121
賞与引当金	152,510	115,074	37,436
預り金	34,388	25,246	9,142
前受収益	108	108	0
大阪本部勘定	0	699,410	△ 699,410
【固定負債】	【 191,694 】	【 156,574 】	【 35,120 】
退職給付引当金	191,594	156,474	35,120
その他固定負債	100	100	0
負債の部計	1,574,885	1,752,946	△ 178,061
【積立金】	【 642,706 】	【 △ 511,064 】	【 1,153,770 】
繰越利益積立金	642,706	△ 511,064	1,153,770
(うち当期純利益)	(1,153,770)	(39,610)	(1,114,160)
純資産の部計	642,706	△ 511,064	1,153,770
負債純資産合計	2,217,591	1,241,882	975,709

平成30年度 進行管理(PDCA)チェックシート

兼経営評価シート

(対象期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日)

評価対象	NO	評価項目	第4回 H29 4-3月		第5回 H30 4-9月	第6回 H30 4-1月	第7回 H30 4-3月	
			自己 評価	答申	自己 評価	自己 評価	自己 評価	答申
管理 (基本的事項)	1	建物・設備・備品は利用に支障をきたさないよう管理できているか	4	4	4	4	4	4
運営 (基本的事項)	2	施設利用者数の状況はどうか	3	3	4	4	4	4
	3	収支計画の達成状況はどうか	4	4	4	4	4	4
医療サービス	4	病院の理念及び基本方針の方向性は適切か、周知はされているか	3	3	3	3	3	3
	5	必要なスタッフ(医師・看護師等)の確保と人材育成はできているか	4	4	4	4	4	4
	6	救急医療体制の整備は進められているか	3	3	4	4	4	4
	7	医療機器の更新、整備の取り組みは進められているか	3	3	4	4	4	4
	8	地域医療機関との連携強化はなされているか	3	3	3	3	3	3
施設利用 サービス	9	ホームページ等、広報・PRは効果的に実施できているか	4	4	4	4	4	4
	10	待ち時間は適切であったか	3	3	3	3	3	3
	11	施設利用利便性向上の取り組みや自主事業等の実施状況は	4	4	4	4	4	4
	12	職員の待遇について、適切に行われているか	3	3	3	3	3	3
危機管理	13	危機管理マニュアル作成や医療安全、情報管理の取り組み状況は	4	4	4	4	4	4
	14	災害時医療の体制整備の取り組みは進められているか	3	3	4	4	4	4
利用者の評価	15	患者アンケートを実施しているか、結果を運営に反映させているか	2	2	2	3	3	3
	16	提案ポストの意見に適切に対応できているか	3	3	3	3	3	3
評点		64点満点	53	53	57	58	58	58
合計点数		100点換算	83	83	89	91	91	91
総合評価		(S ・ AA ・ A ・ B ・ C)	AA	AA	AA	S	S	S

評点の考え方	割合(%)	点数
優れている	86 ~ 100	4点
できている	71 ~ 85	3点
概ねできている	56 ~ 70	2点
やや劣っている	41 ~ 55	1点
劣っている	0 ~ 40	0点

総合評点の考え方	総合評価
合計点数 90点以上	S
" 80~90点未満	AA
" 70~80点未満	A
" 60~70点未満	B
" 60点未満	C

評価項目	1	建物・設備・備品は利用に支障をきたさないよう管理できているか。			
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	4	4	
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	4	4	
	平成29年度(総括)	H30.7.24	4	4	4
P(プラン) 平成30年度 事業計画	4 建物、設備、器具等の維持管理 ①建物及び設備等を良好に維持。				
D(実施状況)	主な内容 ・台風21号の被害箇所の修繕 (駐輪場、動力盤、空調室外機等) ・Wi-Fi環境の構築		(前年度) ・中央館EV修理 ・空調機修理、室外機修理 ・廊下漏水対策工事 ・院内美化等		
C(自己評価の理由)	移転によりハード面での準備が整ったので、患者用のWi-Fi環境を構築した。台風21号により様々な箇所に被害が及んだが、迅速に対応した。				
A(今後の取り組み)	院内の美化に努め、患者、来院者にとって清潔で快適な空間を提供できるよう取り組んでいく。				
市のコメント	投書(清掃や施設の要望)にも、患者の快適性確保、事故防止のために迅速に対応できていた。				

評価項目	2	施設利用者数の状況はどうか。																		
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会															
	平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4															
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	4	4																
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	4	4																
	平成29年度(総括)	H30.7.24	3	3	3															
P(プラン) 平成30年度 事業計画	平成30年度(4~3月) ・1日あたり入院患者数 270人(退院患者含む) (病床稼働率 87.9%) ・1日あたり外来患者数 549人																			
D(実施状況)	<診療実績> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30実績 (4-3月)</th> <th>H30計画 (4-3月)</th> <th>H29 (4-3月)</th> <th>H28 (4-3月)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①1日あたり入院患者数 (病床稼働率)</td> <td>299人 (97.3%)</td> <td>270人 (87.9%)</td> <td>230人 (74.9%)</td> <td>218人 (71.0%)</td> </tr> <tr> <td>②1日あたり外来患者数</td> <td>850人</td> <td>549人</td> <td>559人</td> <td>534人</td> </tr> </tbody> </table> <前年度比較(4月~3月)> ①1日あたり入院患者数 299人 前年度比 +69人(+30.0%)、目標との差 +29人 ②1日あたり外来患者数 850人 前年度比 +291人(+52.1%)、目標との差+301人						H30実績 (4-3月)	H30計画 (4-3月)	H29 (4-3月)	H28 (4-3月)	①1日あたり入院患者数 (病床稼働率)	299人 (97.3%)	270人 (87.9%)	230人 (74.9%)	218人 (71.0%)	②1日あたり外来患者数	850人	549人	559人	534人
	H30実績 (4-3月)	H30計画 (4-3月)	H29 (4-3月)	H28 (4-3月)																
①1日あたり入院患者数 (病床稼働率)	299人 (97.3%)	270人 (87.9%)	230人 (74.9%)	218人 (71.0%)																
②1日あたり外来患者数	850人	549人	559人	534人																

D(実施状況)	<p><主な状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療科を16科 → 33科に増設 血液内科、腎臓・透析内科、緩和ケア内科、内分泌・糖尿病内科、脳神経内科、肝胆膵内科、心臓血管外科、乳腺外科、呼吸器外科、形成外科、消化器外科、リウマチ内科、救急科、歯科口腔外科等を増設 ・24時間365日の救急医療を実施 平成26年から段階的に再開してきた救急医療を全面再開
C(自己評価の理由)	移転直後の4月を除き、100%に近い病床稼働率となっている。外来についても、日平均850人と順調な推移である。ただし、かかりつけ医政策との兼ね合いは今後の課題である。
A(今後の取り組み)	透析の本格実施や、救急科の常勤体制確保のため、引き続き医師確保に努める。また、病棟は満床の状態が続いているため、平均在院日数の短縮を目指し、より多くの患者様に当センターを利用いただけるよう体制を整備する。
市のコメント	入院・外来患者数ともに非常に好調である。救急医療の常勤対応など、さらなる体制整備に努められたい。

評価項目	3	収支計画の達成状況はどうか。																																	
評 価	評 価	報告日	自己評価	市の評価	委員会																														
	平成30年度(総括)	R17.7.31	4	4	4																														
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	4	4																															
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	4	4																															
	平成29年度(総括)	H30.7.24	4	4	4																														
P(プラン) 平成30年度 事業計画	平成30年度 収支計画(4-3月) 経常収支比率103.0%																																		
D(実施状況)	<p><実績></p> <p>入院単価、外来単価ともに計画値を上回り、入院・外来患者数が大幅に増加したことから、経常収支比率は112.8%となり、計画値を大きく上回った。</p> <p>・診療実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30実績</th> <th>H30計画(4-3月)</th> <th>H29</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①経常収支比率</td> <td>112.8%</td> <td>103.0%</td> <td>100.7%</td> <td>99.9%</td> </tr> <tr> <td>②入院診療単価</td> <td>56,946円</td> <td>51,500円</td> <td>48,899円</td> <td>48,280円</td> </tr> <tr> <td>③外来診療単価</td> <td>16,447円</td> <td>14,600円</td> <td>13,657円</td> <td>13,938円</td> </tr> <tr> <td>④給与費比率</td> <td>43.9%</td> <td>55.4%</td> <td>54.9%</td> <td>56.4%</td> </tr> <tr> <td>⑤材料費比率</td> <td>30.3%</td> <td>27.4%</td> <td>26.2%</td> <td>27.5%</td> </tr> </tbody> </table>						H30実績	H30計画(4-3月)	H29	H28	①経常収支比率	112.8%	103.0%	100.7%	99.9%	②入院診療単価	56,946円	51,500円	48,899円	48,280円	③外来診療単価	16,447円	14,600円	13,657円	13,938円	④給与費比率	43.9%	55.4%	54.9%	56.4%	⑤材料費比率	30.3%	27.4%	26.2%	27.5%
	H30実績	H30計画(4-3月)	H29	H28																															
①経常収支比率	112.8%	103.0%	100.7%	99.9%																															
②入院診療単価	56,946円	51,500円	48,899円	48,280円																															
③外来診療単価	16,447円	14,600円	13,657円	13,938円																															
④給与費比率	43.9%	55.4%	54.9%	56.4%																															
⑤材料費比率	30.3%	27.4%	26.2%	27.5%																															
C(自己評価の理由)	事業計画を達成し、黒字化を図った。																																		
A(今後の取り組み)	救急受入れの強化や、在院日数の短縮により、さらなる効率化を目指したい。																																		
市のコメント	入院・外来の利用状況に比例して収支も好転し、経常収支比率も良好な業績である。来年度からは企業債の償還が始まり経費増となるが、引き続き安定的な経営基盤の確立に努められたい。																																		

評価項目	4	病院の理念及び基本方針の方向性は適切か、周知はされているか。			
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	平成30年度(総括)	R1.7.31	3	3	3
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	3	3	
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	3	3	
	平成29年度(総括)	H30.7.24	3	3	3
P(プラン) 平成30年度 事業計画	1 基本方針 市民の生命と健康を守る公立病院としての使命を果たすため、救急医療への取り組み等、6つの基本方針を掲げる。				
D(実施状況)	①24時間対応の救急医療への取り組み、②患者中心の質の高い医療、③がん等の高度度専門医療の提供、④地域医療の充実、⑤災害時医療、⑥人材育成を基本方針として、これらの達成に向けて、職員意識の向上を図っている。				
C(自己評価の理由)	救急医療、高度専門医療の提供や地域医療機関との連携強化へ、職員一丸となり取り組むことができています。				
A(今後の取り組み)	引き続き、基本方針の達成のために、職員意識の向上を図っていく。				
市のコメント	朝礼等により職員への周知が図られている。今後も理念を共有し、一丸となって公立病院としての使命を果たせるよう努力されたい。				

評価項目	5	必要なスタッフ(医師・看護師等)の確保と人材育成はできているか															
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会												
	平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4												
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	4	4													
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	4	4													
	平成29年度(総括)	H30.7.24	4	4	4												
P(プラン) 平成30年度 事業計画	2 基本的な医療機能 ④診療機能の向上 新病院の開院及び診療科の増加に向け、医師を28名増員する。																
D(実施状況)	<p><職員数の状況 常勤換算> (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30.4</th> <th>H29.4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①医師</td> <td>86.10</td> <td>60.79</td> </tr> <tr> <td>②看護部</td> <td>273.30</td> <td>209.94</td> </tr> <tr> <td>③医療技術</td> <td>84.41</td> <td>66.32</td> </tr> </tbody> </table> <p>医師 25.31 人の増員 看護師 63.36 人の増員 医療技術職 18.09 人の増員</p>						H30.4	H29.4	①医師	86.10	60.79	②看護部	273.30	209.94	③医療技術	84.41	66.32
	H30.4	H29.4															
①医師	86.10	60.79															
②看護部	273.30	209.94															
③医療技術	84.41	66.32															
C(自己評価の理由)	総合医療センターの開院にあわせ、大幅に職員を採用した。																
A(今後の取り組み)	現在非常勤医の対応となっている診療科(救急科など)の常勤化を図るため、引き続き医師確保に努める。																
市のコメント	医師の大幅な増員、それに伴う診療科数の倍増について高く評価している。引き続き、スタッフの確保と育成に努められたい。																

評価項目	6	救急医療体制の整備は進められているか															
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会												
	平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4												
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	4	4													
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	4	4													
	平成29年度(総括)	H30.7.24	3	3	3												
P(プラン) 平成30年度 事業計画	3 政策的医療 ①救急医療 ・小児科輪番制救急・休日・夜間以外の紹介救急患者の受け入れ ・岸和田徳洲会病院での和泉市民受け入れ強化等の救急診療継続。																
D(実施状況)	<p><救急医療実施日></p> <ul style="list-style-type: none"> ○内科系・外科系 H30.4より実施(終日) ○小児科 泉州医療圏内で輪番制で実施 実施日:毎週火曜日、第2、4、5土曜日 <p><救急医療(各年度4-1月)></p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>H29</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急医療</td> <td>14,820</td> <td>10,370</td> <td>10,080</td> </tr> <tr> <td>うち救急搬送</td> <td>3,526</td> <td>1,981</td> <td>1,916</td> </tr> </tbody> </table> <p>救急医療の全面再開により、受入件数が増加している。</p>						H30	H29	H28	救急医療	14,820	10,370	10,080	うち救急搬送	3,526	1,981	1,916
	H30	H29	H28														
救急医療	14,820	10,370	10,080														
うち救急搬送	3,526	1,981	1,916														
C(自己評価の理由)	全面再開により救急件数が増加した。特に、搬送件数については昨年度比で約1.8倍となった。																
A(今後の取り組み)	常勤の救急医を確保し、更なる救急体制の充実を目指す。																
市のコメント	市立病院の積年の課題であった救急医療の全面再開を高く評価している。今後も、救急受入件数を拡大し、市外搬送の減少に取り組み、目標達成に向け努力されたい。																

評価項目	7	医療機器の更新、整備の取り組みは進められているか			
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	4	4	
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	4	4	
	平成29年度(総括)	H30.7.24	3	3	3
P(プラン) 平成30年度 事業計画	4 建物、設備、器具等の維持管理 ②必要性、緊急性を十分に見極め、更新を行う。				
D(実施状況)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科口腔外科用医療機器の購入 ・一般撮影装置の追加 ・検査機器(遺伝子検査装置等)の購入 ・乳腺外科用医療機器の購入 ・CT、MRIの増設 <div style="border-left: 1px dashed black; padding-left: 10px; margin-left: 20px;"> <p>(前年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・16列CT、X線TV、MRI(3.0T)、 一般撮影装置、SPECT-CT、アンギオ等、新病院の開設に必要な機器を導入した。 </div>				
C(自己評価の理由)	患者数の増加に対応できるよう、検査機器の追加購入等を行った。				
A(今後の取り組み)	診療科の増設や患者数の増加などタイミングを見極め、随時更新を図る。				
市のコメント	患者数の増加等による即応的な機器購入はもとより、中長期的な医療機器の更新等について、引き続き市と調整を密にされたい。				

評価項目	8	地域医療機関との連携強化はなされているか			
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	平成30年度(総括)	R1.7.31	3	3	3
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	3	3	
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	3	3	
	平成29年度(総括)	H30.7.24	3	3	3
P(プラン) 平成30年度 事業計画	2 基本的な医療機能 ⑤地域医療機関との連携 ・紹介患者の受け入れ、逆紹介に努め 地域医療の向上に貢献します。				
D(実施状況)	<p><取り組み> 平成30年7月19日(木)に地域の医療機関との連携を深める会合を開催した。 地域の医療機関35施設へ、市立病院の体制や、新病院の説明、 地域医療連携室の案内、そして、地域の医師と意見交換を行った。</p> <p><紹介率・逆紹介率> 紹介率 … H30:68.9%、H29:43.2% 逆紹介率 … H30:45.5%、H29:32.5%</p>				
C(自己評価の理由)	和泉市医師会や地域の医療機関への市立病院に関する情報提供を行い、地域からの信頼を高める取り組みを進めた。				
A(今後の取り組み)	地域医療機関への訪問や、意見交換会の開催など、病診連携を強化し、紹介率、逆紹介率の向上を目指す。				
市のコメント	紹介率・逆紹介率のいずれも向上しているが、特に紹介率が大きく改善している。逆紹介率を高め、より一層の病診連携の強化に努められたい。				

評価項目	9	ホームページ等、広報・PRは効果的に実施できているか			
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	4	4	
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	4	4	
	平成29年度(総括)	H30.7.24	4	4	4
P(プラン) 平成30年度 事業計画	5 患者サービス向上 ②ホームページ、新聞広告等、広報の充実を行い、 病院情報の効果的なPRを行います。				
D(実施状況)	<p>・市広報において、「医療講演」の案内を掲載するなど、病院情報を発信。市民向けの「健やかいずみ」や地域医療機関向けの「地域医療連携室だより」での情報提供とともに、グループでの「徳洲新聞」で総合医療センターにおける様々な取り組みをPRする。</p> <p>・ホームページに職員採用のための独立したページを追加した。</p>				
C(自己評価の理由)	各種情報を積極的に広報し、病院の情報発信を効果的に行うことができた。				
A(今後の取り組み)	継続してホームページの内容充実を行う。 「夏休み病院見学ツアー」や「医療講演」に力を入れて取り組み病院をPRする。				
市のコメント	市広報、新聞、ホームページ等の広報媒体を活用し、情報を積極的に掲載するなど、PR活動ができている。				

評価項目	10	待ち時間は適切であったか			
評 価	評 価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	平成30年度(総括)	R1.7.31	3	3	3
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	3	3	
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	3	3	
	平成29年度(総括)	H30.7.24	3	3	3
P(プラン) 平成30年度 事業計画	5 患者サービス向上 ①提案ポストや患者アンケート、待ち時間調査から利用者の意見収集を行い、サービス向上に努めます				
D(実施状況)	年度末に患者アンケートを実施予定。提案ポストでは、診察・検査・会計での待ち時間に対する苦情が寄せられた。				
C(自己評価の理由)	想定以上の来院者数であり、各段階で患者様を待たせてしまっている状況である。				
A(今後の取り組み)	待ち時間の紹介患者の円滑な受入や、逆紹介の向上に努める等、待ち時間の解消を目指す。				
市のコメント	CT、MRI、自動精算機の増設により、待ち時間の短縮に努めた。 今後は、待ち時間の有効活用方策の検討や、紹介、逆紹介の増についても積極的に取り組まれない。				

評価項目	11	施設利用利便性向上の取り組みや自主事業等の実施状況は			
評 価	評 価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	4	4	
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	4	4	
	平成29年度(総括)	H30.7.24	4	4	4
P(プラン) 平成30年度 事業計画	2 基本的な医療機能 ⑥健康増進の取り組み ・人間ドックのサービス向上を行う。 ・医療スタッフによる院外での医療講演会				
D(実施状況)	・夏休み親子病院見学ツアーを開催(中学生17人、保護者15人参加)。 トモセラピーや検査室、救急処置室等を見学した。 ・医療講演会、出前講座を継続実施。				
C(自己評価の理由)	昨年度の取り組みを継続するとともに、自主事業を拡大した。				
A(今後の取り組み)	人間ドック(ふるさと納税返礼品)の実施及び特定健診受診の呼びかけを、和泉市のホームページを使って案内する。				
市のコメント	医療講演等を行うなど、サービス向上に努めている。 また、病院見学ツアーで好評を得るなど、病院のPR活動を積極的に行っている。				

評価項目	12	職員の接遇について、適切に行われているか			
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	平成30年度(総括)	R1.7.31	3	3	3
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	3	3	
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	3	3	
	平成29年度(総括)	H30.7.24	3	3	3
P(プラン) 平成29年度 事業計画	5 患者サービス向上 ③職員の接遇について、研修や個別指導を行います。				
D(実施状況)	患者アンケート調査による意見の収集を行っている。 ご意見箱にしばしば接遇に関する苦情が寄せられており、院内委員会で検討を行った後、指導、教育の徹底を継続し、接遇の向上を図っている。				
C(自己評価の理由)	接遇に関する指摘は、院内委員会において、情報共有を行い、院内全体の取り組みとして改善を図っている。				
A(今後の取り組み)	今後も引き続き、院内委員会による研修をはじめとし、指導、教育を継続していく。				
市のコメント	接遇に関する苦情が増加した。職員への個別指導や、苦情からの改善策の吸い上げにより患者サービスを向上させ、苦情の減少に努められたい。				

評価項目	13	危機管理マニュアル作成や医療安全、情報管理の取り組み状況は												
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会									
	平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4									
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	4	4										
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	4	4										
	平成29年度(総括)	H30.7.24	4	4	4									
P(プラン) 平成30年度 事業計画	2 基本的な医療機能 ④医療機能の向上 ・防災、医療安全等について適切な対応を行います。													
D(実施状況)	<p><基本的事項> 各種マニュアル作成済。 医療安全、情報管理についても適切な対応ができています。</p> <p><報告件数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>1,497</td> <td>876</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>18</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>院内委員会で内容を検討し、職員意識の向上を図っている。</p>						平成30年度	平成29年度	インシデント	1,497	876	アクシデント	18	10
	平成30年度	平成29年度												
インシデント	1,497	876												
アクシデント	18	10												
C(自己評価の理由)	インシデント・アクシデントは前年度比で2倍近い報告数となっており、職員の意識向上が図られている。													
A(今後の取り組み)	マニュアルについては、定期的な見直し作業を継続していく。 医療安全対策についても、引き続き、職員意識の向上を図っていく。													
市のコメント	各種マニュアルを整備し、医療事故等については市とも情報を共有するなど、適切な対応ができています。 インシデント・アクシデントに関する職員意識の向上が図られている。													

評価項目	14	災害時医療の体制整備の取り組みは進められているか			
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	平成30年度(総括)	R1.7.31	4	4	4
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	4	4	
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	4	4	
	平成29年度(総括)	H30.7.24	3	3	3
P(プラン) 平成30年度 事業計画	3 政策的医療 ③災害時医療 和泉市の地域防災計画に沿った体制により、職員研修、訓練を実施、災害発生時には傷病者を受け入れ、状況に応じて被災地への医師・看護師派遣を実施します。				
D(実施状況)	災害対策委員会を毎月1回第一火曜日に実施。マニュアル整備・訓練・備品の購入計画を検討。二ヶ月に1回院内訓練を実施(搬送用ストレッチャーの使用法トリアージタグの使用法・トランシーバーの使用法) 医療機関における災害リスクマネジメントセミナーへの参加。 物品整備:災害備蓄食料品の追加購入(3日分) ストレッチャー10台。テント3基。対応マニュアルDVD購入。				
C(自己評価の理由)	災害用の物品を調達したほか、日常的に訓練を実施している。				
A(今後の取り組み)	現在、市や府(保健所)と連携した災害対策訓練の実施を検討中。 引き続き、災害時医療訓練を実施し、課題検討に努めていく。				
市のコメント	災害に備えた訓練・研修を行っている。 政策医療のひとつとして災害時医療を重視しており、今後の取り込みに期待したい。				

評価項目	15	患者アンケートを実施しているか、結果を運営に反映させているか																					
評価	評価	報告日	自己評価	市の評価	委員会																		
	平成30年度(総括)	R1.7.31	3	2	3																		
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	3	2																			
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	2	2																			
	平成29年度(総括)	H30.7.24	2	2	2																		
P(プラン) 平成30年度 事業計画	5 患者サービス向上 ①提案ポストや患者アンケート、待ち時間調査から利用者の意見収集を行い、サービス向上に努めます。																						
D(実施状況)	入院患者を対象とした簡易なアンケートを実施している。年度末には外来・入院患者を対象とした大規模なアンケート調査を実施予定である。結果が出次第、運営の改善につなげていきたい。 【参考】 H29 患者満足度(アンケートで「良い」以上) (単位:%) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>医師</th> <th>看護師</th> <th>その他職員</th> <th>施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>H29</td> <td>87.9</td> <td>90.2</td> <td>78.2</td> <td>62.8</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>H29</td> <td>76.9</td> <td colspan="2">71.4</td> <td>58.1</td> </tr> </tbody> </table>							医師	看護師	その他職員	施設	入院	H29	87.9	90.2	78.2	62.8	外来	H29	76.9	71.4		58.1
		医師	看護師	その他職員	施設																		
入院	H29	87.9	90.2	78.2	62.8																		
外来	H29	76.9	71.4		58.1																		
C(自己評価の理由)	病院全体を対象としたアンケートは未実施であるものの、病棟単位でアンケートを実施している。																						
A(今後の取り組み)	患者の意見を真摯に受け止め、サービス向上につなげていく。なお、令和元年度に、全体的なアンケートを実施する予定である。																						
市のコメント	病棟での個別のアンケートは評価できるが、外来患者を含めた病院全体でのアンケートは未実施である。																						

評価項目	16	ご意見箱等の意見に適切に対応できているか			
評 価	評 価	報告日	自己評価	市の評価	委員会
	平成30年度(総括)	R1.7.31	3	3	3
	平成30年度(4-1月)	H31.3.27	3	3	
	平成30年度(4-9月)	H30.12.7	3	3	
	平成29年度(総括)	H30.7.24	3	3	3
P(プラン) 平成30年度 事業計画	5 患者サービス向上 ①提案ポストや患者アンケート、待ち時間調査から利用者の意見収集を行い、サービス向上に努めます。				
D(実施状況)	提案ポストにいただいた意見を2日に1度、回収し、迅速に院長が確認できるようにしている。 ご意見への回答は、院内掲示を行っている。				
C(自己評価の理由)	院内委員会において、内容の検討をし、迅速に病院長に報告し対応している。				
A(今後の取り組み)	引き続き、投書内容を委員会で検討し、院内に周知していきたい。				
市のコメント	引き続き、患者意見の収集に努め、サービスの向上に努められたい。				

評点の考え方	割合(%)	点数
優れている	86 ~ 100	4点
できている	71 ~ 85	3点
概ねできている	56 ~ 70	2点
やや劣っている	41 ~ 55	1点
劣っている	0 ~ 40	0点

総合評価 平成30年度	自己評価	58	合 計(58点 / 64点) 合計評価点(91点 / 100点)
	市の評価	57	合 計(57点 / 64点) 合計評価点(89点 / 100点)
	委員会の評価	58	合 計(58点 / 64点) 合計評価点(91点 / 100点)

総合評価 平成29年度	自己評価	53	合 計(53点 / 64点) 合計評価点(83点 / 100点)
	市の評価	53	合 計(53点 / 64点) 合計評価点(83点 / 100点)
	委員会の評価	53	合 計(53点 / 64点) 合計評価点(83点 / 100点)

和泉病第 号

令和元年7月31日

和泉市立総合医療センター経営評価委員会

委員長 高杉 豊 様

和泉市長 辻 宏康

令和元年度 和泉市立総合医療センターの指定管理者による管理運営状況
及び和泉市立病院新改革プラン実施状況の評価について（諮問）

和泉市立総合医療センターの適正な管理運営を確保するとともに、サービス水準の向上につなげるため、指定管理者による管理運営状況及び和泉市立病院新改革プラン実施状況を貴委員会において評価いただきますよう、和泉市立総合医療センター経営評価委員会規則第2条に基づき諮問します。